

令和5年度 北海道帯広農業高等学校（全日制） 学校評価

令和6年3月

評価アンケート	○自己評価（教職員55） ○学校関係者評価（保護者177）、関係機関 5） ○各評価項目に対して4段階で評価。（ ）内の数字は昨年度参考 A[5.0] 十分である B[4.0] 概ね十分である C[3.0] やや不十分である D[2.0] 改善を要する
---------	--

めざす生徒像

「礼儀正しく、きまりを守り、思いやりのある心豊かな人間性と社会の変化に主体的に対応できる生徒」

めざす学校像

「先見性・創造性・チャレンジ精神を育み、社会の発展に貢献できる人材を育成し、地域に信頼される学校」

1 教育目標

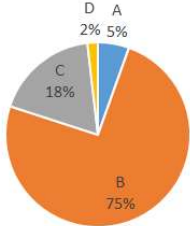
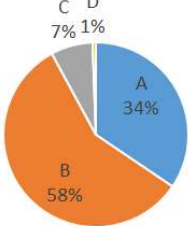
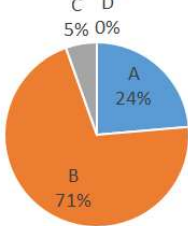
- 1 広い教養と公正な判断力、グローバルな視野を持った生徒（知識、技能、判断力、思考力、表現力）
- 2 農業の社会的役割を理解し、生産・加工・流通・販売の成就感を体得した生徒（実行力、達成感、成就感）
- 3 地域産業の発展に必要な知識と創造力を培い、地域を支えていく生徒（創造力、指導力、協働性）
- 4 郷土と自然に対する愛情と思いやりの心を培い、向上心や自己肯定感のある生徒（向上心、自己肯定感）
- 5 健康な心身を持ち、平和で明るい社会をつくる能力のある生徒（社会性、コミュニケーション力、共感力）

2 方針

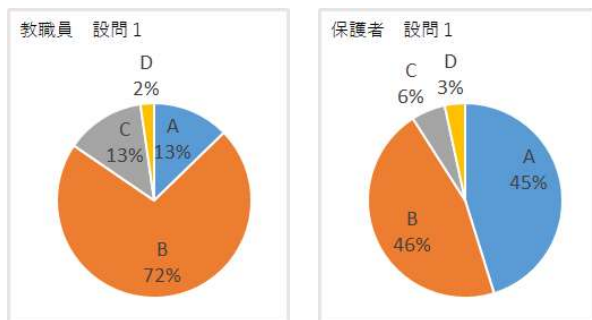
- 1 教育目標の具現化を目指し、学ぶ喜びが溢れる教育活動を展開する学校
- 2 学校力向上を目指して、マネジメントサイクルを積極的に導入する学校
- 3 地域との連携を強化して、産学官連携による専門教育の充実を図る学校
- 4 組織的な体制を構築して、教職員が協働意識を持って学校力向上に向けて参画する学校
- 5 働き方改革を意識しながら教育活動を実践できる環境づくりに取り組む学校
- 6 危機管理マニュアルに基づく感染症対策等を行うなどの安全安心な学校

【評価結果】

	設問 No	評価項目	教 職 員 評 価	関 係 者 評 価		評 価 平 均																																								
				保 護 者																																										
I 教育目標と 教育課程	1	本校の教育目標が本校教育の使命と本校が育てる生徒像を現し、地域の皆様の要望に応えるものになっていると思いますか。	4.1 (4.2) (4.0) (4.2)	4.6 (5.0) (5.0) (5.0)	4.5 (4.3) (4.3) (4.4)	4.4 (4.4) (4.4) (4.5)																																								
	2	本校では、HP・SNS等の定期的な更新やPTAだより発行等学校情報の迅速な発信やPTA活動、学校農場の開放などを通して、「地域に開かれた学校」「地域から信頼される学校」になっていると思いますか。	4.2 (4.1) (4.0) (4.2)	4.4 (4.6) (5.0) (4.7)	4.5 (4.3) (4.1) (4.4)																																									
	記述意見等	【教職員】 ・教育課程の評価を行い、改善を行う必要がある。 【保護者】 ・今年度からSNSを使った情報発信に取り組み始めていて遠くにいる家族にとっては学校の様子がよく分かり大変助かっています。担任の先生もきめ細かく対応して下さい感染症の閉鎖の際など心強かったです。PTA活動にご協力できず心苦しいですが、帯農での高校生活を選んで良かったです。																																												
【改善方策】 ・教育目標実現のため教職員が一丸となり「地域に開かれた学校」「地域から信頼される学校」づくりを実践する。																																														
【関係グラフ】																																														
教職員 設問 1 <table><thead><tr><th>評価</th><th>割合</th></tr></thead><tbody><tr><td>A</td><td>15%</td></tr><tr><td>B</td><td>80%</td></tr><tr><td>C</td><td>5%</td></tr><tr><td>D</td><td>0%</td></tr></tbody></table> 保護者 設問 1 <table><thead><tr><th>評価</th><th>割合</th></tr></thead><tbody><tr><td>A</td><td>47%</td></tr><tr><td>B</td><td>52%</td></tr><tr><td>C</td><td>1%</td></tr><tr><td>D</td><td>0%</td></tr></tbody></table> 教職員 設問 2 <table><thead><tr><th>評価</th><th>割合</th></tr></thead><tbody><tr><td>A</td><td>27%</td></tr><tr><td>B</td><td>67%</td></tr><tr><td>C</td><td>6%</td></tr><tr><td>D</td><td>0%</td></tr></tbody></table> 保護者 設問 2 <table><thead><tr><th>評価</th><th>割合</th></tr></thead><tbody><tr><td>A</td><td>51%</td></tr><tr><td>B</td><td>46%</td></tr><tr><td>C</td><td>2%</td></tr><tr><td>D</td><td>1%</td></tr></tbody></table>							評価	割合	A	15%	B	80%	C	5%	D	0%	評価	割合	A	47%	B	52%	C	1%	D	0%	評価	割合	A	27%	B	67%	C	6%	D	0%	評価	割合	A	51%	B	46%	C	2%	D	1%
評価	割合																																													
A	15%																																													
B	80%																																													
C	5%																																													
D	0%																																													
評価	割合																																													
A	47%																																													
B	52%																																													
C	1%																																													
D	0%																																													
評価	割合																																													
A	27%																																													
B	67%																																													
C	6%																																													
D	0%																																													
評価	割合																																													
A	51%																																													
B	46%																																													
C	2%																																													
D	1%																																													

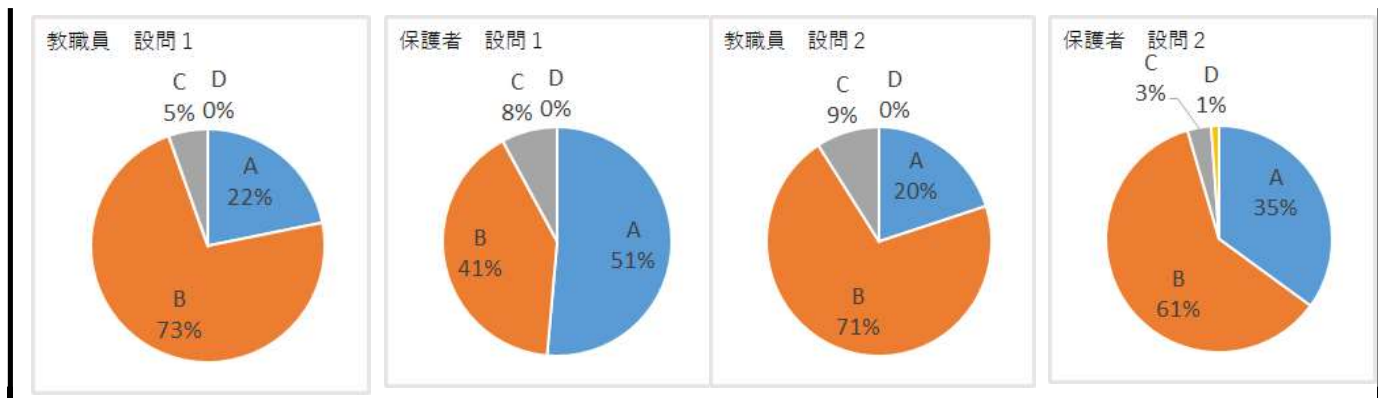
	設問 No	評価項目	教 職 員 評 価	関係者評価		評 価 平 均
				保 護 者		
Ⅱ 学 習 指 導・専 門 教 育・教 育 寮 指 導	1	本校では、基礎基本の定着・学力の向上及び農業専門学習の充実のため、指導方法の工夫や関連機関と連携した授業の展開を図ると共に、ＩＣＴ（ＢＹＯＤ）の活用、観点別など適正な授業評価等による授業改善やシラバスの活用等に取り組んでおり、その成果が現れている。	3.8 (3.9) (4.0) (3.9)	4.4 (5.0) (5.0) (5.0)	4.3 (4.1) (4.1) (4.2)	4.2 (4.3) (4.2) (4.3)
	2	本校では、大学・関係機関とのパートナーシップ事業、異校種との連携事業（参加授業等）、地域や産業界との連携により専門教育の高度化や定着を図っており、その成果が生徒の姿に現れていると思いますか。	4.2 (4.3) (4.0) (4.1)	4.8 - - -	4.4 - - -	
	記 述 意 見 等	【教職員】 ・評価方法についてさらなる研修が必要であると感じる。 ・Wi-Fi環境の改善が必要である。（使用できる範囲、脆弱さの改善） 【保護者】 ・資格試験に関する補習や、補講などが足りないと感じます。 ・他校の生徒と本校の生徒さんと比べる先生がいるとのこと。必要でしょうか。改めていただきたいところです。また、授業でＢＹＯＤ等を使うのは必要ですが、先生方の指導が生徒の知識に追いついていない。 ・今後もAD組の1年次の1年間の入寮の伝統を続けて欲しいです。お陰様で友人関係の構築や規律正しい生活リズムができたと思います。				
【改善方策】 ・教育課程の評価、改善を図る。 ・教科等横断的な視点を持ち、生徒の学力や学習状況を的確に把握する。 ・ＩＣＴ機器を効果的に活用した授業改善を図る。 ・教員研修を充実させ、教員の資質能力の向上を図る。						
【関係グラフ】						
教職員 設問 1  保護者 設問 1  教職員 設問 2  保護者 設問 2 						

	設問 No	評価項目	教 職 員 評 価	関 係 者 評 価	保 護 者	評 価 平 均	
Ⅲ 生 徒 指 導	1	本校では、服装・頭髪・挨拶等の基本的生活習慣の確立やいじめ根絶の取組、薬物乱用防止、携帯電話使用のマナーの徹底等、規範意識の向上や社会マナーの醸成に取り組んでおり、その成果が現れていると思いますか。	4.0 (4.0) (4.2) (4.3)	4.8 (5.0) (5.0) (4.8)	4.3 (4.2) (4.3) (4.4)	4.1 (4.5) (4.5) (4.5)	
		【教職員】 ・教職員のいじめの対応や生徒指導のあり方の研修が必要である。 ・生徒のコミュニケーションスキルを向上させる取組が必要である。 【保護者】 ・先生をはじめ、生徒皆さんの挨拶がとても気持ち良いです。別用で他校に行った際には、挨拶はなかったです。学校を訪問した際の生徒さんの挨拶は素晴らしいと思う。 ・校則（頭髪）について見直して欲しい。 ・指導事故等の対応について改善して欲しい。					
		【改善方策】 ・校内研修会や外部の研修会を活用し、教職員の資質の向上を図る。 ・教育相談を充実させ、全教職員で生徒理解を深め、きめ細かな生徒指導を実践する。 ・校則の見直しを図る。					
		【関係グラフ】					



	設問 No	評価項目	教 職 員 評 価	関係者評価	保 護 者	評 価 平 均																				
IV キ ャ リ ア 指 導	1	本校では、1年生からの個別進路指導の展開や地域・産業界と連携した専門教育及びインターンシップの実施等を通して生き方・在り方等、進路意識を高めると共に、社会性や勤労観・就労観等の醸成に努めており、社会に通用する人材づくりとして、その成果が現れていると思いますか。	4.1 (4.3) (3.9) (3.9)	4.6 (4.8) (5.0) (4.8)	4.4 (4.2) (4.2) (4.3)	4.3 (4.4) (4.4)																				
	記 述 意 見 等	【教職員】 ・面接指導の在り方について、共通認識が必要と感じる。 【保護者】 ・生徒たちの就職に対する意識が、全体的に低いと感じます。模試の大切さや、働くことに対する意識付けが足りないのではと思います。 ・インターンシップ先の設定と、対応が不十分である。																								
	【改善方策】 ・関係機関等と連携を深める。 ・生徒一人一人の進路実現に向けさらなる組織的・系統的なキャリア教育を推進する。 ・家庭向け啓発資料（たより、リーフ）を配布し、本人・保護者への周知と共通理解を深める。																									
	【関係グラフ】																									
教職員 設問1 <table><thead><tr><th>評価</th><th>割合</th></tr></thead><tbody><tr><td>A</td><td>20%</td></tr><tr><td>B</td><td>73%</td></tr><tr><td>C</td><td>7%</td></tr><tr><td>D</td><td>0%</td></tr></tbody></table> 保護者 設問1 <table><thead><tr><th>評価</th><th>割合</th></tr></thead><tbody><tr><td>A</td><td>43%</td></tr><tr><td>B</td><td>51%</td></tr><tr><td>C</td><td>6%</td></tr><tr><td>D</td><td>0%</td></tr></tbody></table>							評価	割合	A	20%	B	73%	C	7%	D	0%	評価	割合	A	43%	B	51%	C	6%	D	0%
評価	割合																									
A	20%																									
B	73%																									
C	7%																									
D	0%																									
評価	割合																									
A	43%																									
B	51%																									
C	6%																									
D	0%																									

	設問 No	評価項目	教 職 員 評 価	関 係 者 評 価		評 価 平 均
V 特別活動・健康・安全指導	1	本校では、特別活動・部活動・生徒会・農業クラブ活動等への積極的な取組を通して何事も主体的に取組む姿勢の人間力を育てており、その成果が現れていると思いますか。	4.2 (4.4) (4.0) (4.2)	4.8 (5.0) (5.0) (4.5)	4.4 (4.3) (4.3) (4.4)	4.4 (4.4) (4.4) (4.3)
	2	本校では、事故・災害などへの対応を熟知し、生徒の安全確保・事故の未然防止に努め、日頃から危機回避の行動を心がけていると思いますか。	4.1 (4.1) (4.2) (4.1)	4.5 - - -	4.3 (4.3) (4.2) (4.5)	
	記 述 意 見 等	【教職員】 ・1日防災学校の充実を図るため、防災避難訓練の見直しをする必要性がある。 【保護者】 ・スマホの仕様（フィルター）について。 ・真夏の暑さ、真冬の厳しさは十分事故につながります。夏のエアコン、冬の暖房に力を入れていただきたいです。				
	【改善方策】 ・生徒の主体的な生徒会・農業クラブ活動による地域連携を通じて豊かな心の育成を図る。 ・関係機関等と連携して安全教育（ネット教育講習会等）の充実を図る。 ・危機管理マニュアルの見直しを図る。防災訓練等により、災害時の適切な判断と行動が行われるようにする。 ・学校の教育環境の改善に努める。					
【関係グラフ】						



	設問 No	評価項目			教 職 員 評 価	関 係 者 評 価	保 護 者	評 価 平 均
Ⅵ そ の 他	1	本校では、全職員がPTA、同窓会など外部団体と積極的に関わり、充実した活動になるよう努力していると思いますか。			3.9 (4.1) (4.1) (3.9)	4.8 (4.8) (4.7) (4.3)	4.2 (4.3) (4.3) (4.2)	4.2 (4.4) (4.4) (4.2)
	2	本校では、全教職員が個人情報の管理や交通事故、セクハラなど、服務規律の保持について常に公務員としての意識をもって業務に当たっている。			4.2 (4.2) (3.8) (4.2)	- - - -	- - - -	
	3 現在の帯広農業高校の生徒に必要なもの（こと）は総じて何か、次の中から3つ選んでください。							
	A基礎学力	16.4% (13.1%) (20.0%) (20.9%)	F安全意識	9.4% (6.1%) (4.6%) (2.0%)	K友人	2.3% (5.1%) (2.1%) (1.0%)		
	B体力	1.6% (2.0%) (1.0%) (3.1%)	G明るさ	0.8% (5.1%) (0.0%) (2.0%)	Lボランティア	1.6% (1.0%) (0.0%) (1.5%)		
	C専門技術(知識)	10.2% (14.1%) (10.8%) (10.2%)	H優しさ	4.7% (4.0%) (4.1%) (3.6%)	M国際観	3.1% (5.1%) (4.6%) (5.6%)		
	D就職	1.6% (2.0%) (2.1%) (2.6%)	I礼儀	11.7% (14.1%) (12.3%) (10.2%)	N一般常識	7.0% (8.1%) (11.8%) (11.7%)		
	E進学	3.1% (2.0%) (2.6%) (2.6%)	J部活動	7.8% (2.0%) (1.5%) (3.1%)	O資格取得	2.3% (2.0%) (1.5%) (1.5%)		
					P向上心	16.4% (14.1%) (10.8%) (18.4%)		
記 述 意 見 等	【教職員】 ・学科教育(内容や特性など)の相互理解と、その特性を発揮させる協力関係を構築することが必要ではないかと感じている。 ・今年度は、生徒の情報共有シートの活用や、毎月の教育相談アンケートの実施、教育相談に関する校内研修会の実施など、一人一人の生徒を大切にしている取り組みに大きな進歩があったと思います。今後、これをより確実な取り組みにしていきたいです。いじめ、不登校など、私たちが学び発想を変えなければならない今日的課題があります。 【保護者】 ・夏の教室がすごく暑いそうで、授業や体調に支障がでるのではないかと心配です。 ・保護者も負担をしようと思いますので、教室にクーラーの設置をお願いしたいと思います。出来れば寮にも。 ・学校も部活も楽しいと言っています。いつもありがとうございます。親としては大満足の学校です ・宿泊学習が出来ない代わりに、生徒間の交流が持てる授業を取り入れた先生達のアイデアが良いと思いました。今の状況で次にどう考えるかという姿を、生徒は良く見ています。 ・冬の時間割の5分休みというのはあまりに女性に配慮がなさすぎて驚きました。男性主体ならではの考え方だと思います。特に生理時であればトイレタイムが5分で足りるわけがないという考えに至らないことが、いくら男子が多い高校といえ正直あり得ないと思っております。女子の親として、心から改善を求めます。また、最近の減便につぐ減便というバス事情は十分ご存知のはずと存じます。保護者がみんな帰り迎えに行けるわけではないですし、特に冬は北高前のバス停は北校生で激混みで常農生で下級生はほとんど乗れないことも多い							

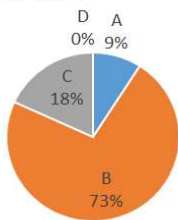
です。でしたらせめて正門前のバスに間に合うよう、ホールームの時間を長く取りすぎない等、学校側でもご配慮いただけるとありがたいです。

【改善方策】

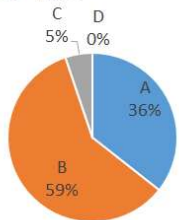
- ・保護者と地域、学校評議委員会等との連携を行い、学校課題を把握し課題解決に努める。
- ・研修や研究会参加の報告を行い、研修成果を教職員で共有し、教職員の資質・能力向上に努める。。
- ・学校の教育環境の改善に努める。
- ・教職員が職務に専念できる環境の充実を図る。

【関係クラフ】

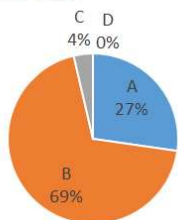
教職員 設問 1



保護者 設問 1



教職員 設問 2



現在の帯広農業高校の生徒に必要なもの（こと）は総じて何か、次の中から3つ選んでください。

